

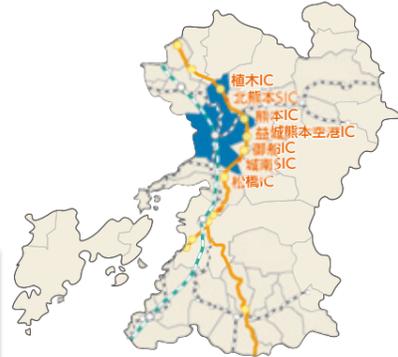
クマモトシ 熊本市

総人口… 737,850人 男… 348,641人 女… 389,209人 世帯数… 334,137世帯
(人口構成比) 15歳未満… 13.3% 15～64歳… 59.6% 65歳以上… 27.1%
※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



大西 一史 市長

本市は、目指すまちの姿である「上質な生活都市」の実現に向けて、「こどもが輝き、若者が希望を抱くまちづくり」や「豊かな環境を未来につなぐまちづくり」をはじめとする8つの目標を掲げ、様々な施策に取り組んでおります。お寄せいただいたご寄附は、企業・民間団体・大学等と連携した教育関連事業や、花と緑を活かし地下水を守る取組等に活用させていただきます。本市へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



- 寄附御礼**
- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額200万円以上)
 - ・感謝状贈呈(寄附額10万円以上)
 - ・地公体広報誌掲載
 - ・HP掲載
 - ・視察受入
 - ・功労者表彰推薦
 - ・紺綬褒章推薦
 - ・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

1 カテゴリー1 産業振興・企業誘致
創業支援と地場産業の強化

成長が期待されるスタートアップ等に対し、創業初期のビジネスプランのブラッシュアップ等の伴走支援や、ミドルステージ(拡大型)以降の企業を対象とした経営課題解決支援、海外展開支援に加え大学等の研究シーズを社会実装するための大学と地元企業のマッチング支援等を行うことで、熊本の産業を牽引する企業の創出を目指している。



スタートアップナイト集合写真

2 カテゴリー9 地域創生
(地域再生、都市再生、中心市街地活性化対策等)
熊本市公民連携プラットフォーム

公共施設マネジメントを着実に推進していくことなどを目的に、PPP/PFI事業に関するノウハウや案件形成能力の向上、行政と民間との対話を継続的に実施していく場として、「熊本市公民連携プラットフォーム」を設置。テーマごとの講演会や参加いただく民間企業とマーケットサウンディングを行う。



官民対話の様子

「第8次総合計画」

基本目標 1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまちづくり
全てのこどもの健やかな成長と家庭の幸せへの支援、困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援、こどもを主体とした教育の推進、まちを支える人材の確保・育成

基本目標 5 豊かな環境を未来につなぐまちづくり
カーボンニュートラルの実現、生物多様性の保全と自然との共生、持続可能な循環型都市の実現、快適で安全・安心な生活環境の保全

基本目標 2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまちづくり
半導体関連産業等への新たな投資の後押しや中小企業等の振興、世界を魅了する都市ブランド力の向上、交流人口拡大によるにぎわいの創出、広域交通ネットワークの形成による物流・人流の円滑化、活力と魅力に満ちた持続可能な農水産業の振興

基本目標 6 すべての市民がより良い暮らしを営むまちづくり
地域コミュニティ活性化の推進、人生100年時代を生きるための健康づくりの推進、生涯にわたる学びやスポーツの推進、文化芸術が持つ多様な価値の活用、市民の安心を確保するための社会保障制度の運営

基本目標 3 市民生活を守る強くしなやかなまちづくり
防災・減災の推進、保健衛生体制の強化と医療提供体制の確保、総合的な消防・救急体制の強化、交通安全・防犯の推進

基本目標 7 安全で良好な都市基盤が整備されたまちづくり
持続可能で魅力的な都市づくり、豊かな住生活の実現、安全で持続可能な上下水道サービスの提供

基本目標 4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまちづくり
人権尊重社会の実現、だれもが生きがいを持ち、お互いに支え合える社会の実現、男女共同参画の推進、多文化共生の推進

基本目標 8 市民に信頼される市役所の実現
行政サービスの質の向上と持続可能な行政運営の推進、開かれた市役所の実現、市域を越えた広域的な連携の強化

熊本市

重点プロジェクト

～「みんなの夢が未来を創る」～ Kumamoto Education Week

(SDGs)関連するゴール



- 総事業費** 200万円 寄附目標額 —
数値目標 ●プログラム数 …………… R4:52、R5:62、R7:70以上
●参加者数… R4:4,101人、R5:5,057人、R6:7,000人以上

Well-beingを実現するための教育について多様な社会の参加者と共に考え、行動することで世界の教育振興に貢献するため、「みんなの夢が未来を創る」をテーマとした教育の祭典を開催します。“教育DX”をはじめとする「学び」にまつわる様々なテーマでのトークセッションの開催や、学生や民間企業と連携した若者の居場所づくりの取組紹介、アーティストやユーザーとのコラボ企画、民間団体との連携による体力向上プログラム紹介など、企業・民間団体・大学等と連携した取組を行います。YouTube動画50以上、対面イベント20以上、計70以上のプログラムを実施・配信予定です。(2025年1月中旬開催予定)



学びにまつわるテーマでトークセッション

- 寄附の具体的なメリット**
10万円～感謝状贈呈・市HPへの記事掲載
200万円～感謝状贈呈式を開催(地元報道機関へのプレスリリースを実施)

寄附申出書の事業名選択時は「すべての市民がより良い暮らしを営むまちづくりに資する事業」を選択してください。

重点プロジェクト

花緑が「日常」になる新習慣 ～花とみどりを日常に～

(SDGs)関連するゴール



- 総事業費** 4,300万円 寄附目標額 —
数値目標 ●森に親しんだ市民の割合2023年23%…2027年 23%
●市民や企業によるパートナー花壇2023年62箇所
…………… 2027年90箇所

自然環境と経済活動とが共存し、相互に利益をもたらす社会の実現と持続可能な発展のため、『くまもと花博』では、間伐材やロスフラワーを活用して、木育活動や木工製品、新たなアート作品を生み出す取組を行います。街なかに、全長20mの花のトンネルを設置したり、熊本県産の花苗を使用したフラワーアートを演出するほか、まち山エリアでは市民参加型のごみ拾いイベントを開催するとともに、花とみどりを活かしたまちづくりを進めるなど、市民・事業者と協働で緑化に取り組めます。



放置竹林等の間伐材を活用した花のトンネル

- 寄附の具体的なメリット**
10万円～感謝状贈呈・市HPへの記事掲載
200万円～感謝状贈呈式を開催(地元報道機関へのプレスリリースを実施)

寄附申出書の事業名選択時は「市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまちづくりに資する事業」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。